

こいのうた(モンパチVer.)

本調子

工 ○ 上 ○ 四 ○ 老 四 上 ○ 尺 ○ 工 ○ 合 尺

工 ○ 上 ○ 四 ○ 老 四 上 ○ 尺 ○ 工 ○ 合 ○

工 ○ 合 工 尺 上 尺 工 ○ 老 四 上 ○ 合 上 尺

中 ○ 上 四 上 ○ 合 ○ 工 合 工 五 ○ 合 尺

工 ○ 合 工 尺 上 尺 工 ○ 老 四 上 ○ 合 上 尺

中 ○ 上 四 上 ○ 合 尺 工 合 尺 工 ○ 合 ○

工 ○ 上 ○ 四 ○ 老 四 上 ○ 尺 ○ 工 ○ 合 尺

工 ○ 上 ○ 四 ○ 老 四 上 ○ 尺 ○ 工 ○ 合 ○

工 ○ 合 工 尺 上 尺 工 ○ 老 四 上 ○ 合 上 尺

中 ○ 上 四 上 ○ 合 ○ 工 合 工 五 ○ 合 尺

工 ○ 合 工 尺 上 尺 工 ○ 老 四 上 ○ 合 上 尺

中 ○ 上 四 上 ○ 合 尺 工 合 尺 工 ○ 合 ○

こいのうた(モンパチVer.)

本調子

工	ほ
○	お
合	し
尺	い
工	よ
○	
合	
○	
工	き
○	
合	
工	い
尺	つ
○	
上	あ
尺	

工	な
○	た
老	に
四	は
上	
○	
合	
上	き
中	う
○	
上	に
四	こ
上	い
○	
合	し
○	

工	く
○	な
合	あ
工	つ
五	り
○	
合	
尺	
工	や
○	
合	き
工	も
尺	ち
○	
上	を
尺	

工	や
○	い
老	た
四	り
上	
○	
合	
上	あ
中	い
○	
上	を
四	た
上	く
○	
合	さ
尺	

工	ん
○	
合	く
尺	れ
工	て
○	
合	
尺	あ
工	い
○	を
合	
工	あ
尺	げ
○	た
上	い
尺	ひ
○	と

工	
○	
老	
四	
上	
○	
合	
上	
中	
○	
上	
四	
上	
○	
合	
○	

工	が
○	い
合	る
工	か
五	ら
○	
合	
尺	た
工	だ
○	あ
合	ち
工	い
尺	さい
○	ち
上	い
尺	さ
	い
	ひ

工	
○	
老	
四	
上	
○	
合	
上	
中	
○	
上	
四	
上	
○	
合	
尺	

工	い
○	か
合	り
尺	の
工	よ
○	お
合	
○	あ
六	あ
○	
合	た
六	し
七	の
六	
五	
工	

尺	こ
○	い
合	ご
尺	こ
工	ろ
○	
合	に
○	は
六	き
○	
合	ず
八	か
七	な
六	な
五	い
工	

尺	で
○	
合	
○	し
工	よ
○	お
合	
工	で
五	も
六	そ
○	
五	ん
六	な
七	あ
六	な
五	た
工	だ

尺	か
○	ら
合	こ
尺	そ
工	
○	
合	
○	か
中	が
○	や
五	あ
○	あ
五	い
○	て
工	み
○	え
合	る
尺	の

こいのうた(モンパチVer.)

本調子

工	だ
○	か
上	ら
○	あ
四	
○	
老	き
四	つ
上	と
○	
尺	い
○	ま
工	の
○	あ
合	た
尺	し

工	に
○	は
上	あ
○	な
四	
○	た
老	い
四	じ
上	ょ
○	お
尺	は
○	あ
工	い
○	な
○	い
○	で

○	し
合	よ
上	
六	
○	
乙	
上	
五	
○	
老	
上	
六	
○	
尺	
六	
八	

○	
四	
工	
七	
○	
合	
上	
六	
○	
乙	
上	
五	
○	
老	
上	
六	
○	
尺	
六	
八	

○	お
合	し
上	え
六	て
○	く
乙	だ
上	
五	さい
○	
老	か
上	み
六	さ
○	あ
尺	ま
六	
八	

○	あ
四	の
工	
七	ひ
○	と
合	は
上	
六	な
○	
九	に
○	を
八	み
○	て
六	る
○	

○	な
五	を
○	
乙	か
五	ん
尺	が
○	
上	え
尺	だ
五	れ
○	を
老	あ
上	い
尺	し
○	
乙	

上	だ
中	れ
○	
上	の
上	た
上	め
○	
乙	に
○	
五	き
○	ず
乙	つ
五	く
五	の
○	
乙	

尺	
五	い
○	
乙	き
五	て
尺	ゆ
○	
上	く
尺	
五	ち
○	か
老	ら
上	あ
上	が
○	
乙	

上	そ
中	の
○	
上	て
上	に
上	あ
○	
乙	る
尺	
五	う
○	う
乙	ち
尺	は
五	あ
○	
乙	

○	わ
五	ら
○	
上	せ
○	て
上	て
○	
老	い
上	
上	つ
○	も
尺	い
○	つ
五	も
○	
乙	

尺	わ
五	ら
○	
上	あ
○	つ
上	い
○	
老	て
上	
上	ほ
○	お
尺	し
○	い
五	よ
○	
○	

生きてゆく力が その手にあるうち

は 笑わせて て い の う た も (モンパチver.)

本調子

5/5

側にいて 欲しいよ

一、生きてゆく力が その手にあるうち
は

笑わせてて いつも いつも
うたっていて 欲しいよ

きつとこの恋は 口に出すこともな
く
伝わることもなく 叶うこともなく
て
終わることもないでしょう
ただ小さい小さい光になって
あたしのこの胸の温度は下がらない
でしょう

欲を言えばキリがないので
望みは言わないけれど
きつと今のあたしには あなた以上
はないでしょう

生きてゆく力が その手にあるうち
は
笑わせてて いつも いつも
側にいて 欲しいよ

きつとあなたには 急に恋しくなっ
たり
焼きもちを焼いたり 愛をたくさん
くれて
愛をあげたい人がいるから
ただ小さい小さい光のような
私の恋心には気づかないでしょう

でもそんなあなただからこそ
輝いて見えるのだから
きつと今のあたしには あなた以上
はないでしょう

教えてください神様
あの人は何を見てるの

何を考え 誰を愛し